

新宮山彦ぐるーぷ第2352回

行仙宿整備と浦向道の点検

◇実施日 2月23日(日) 晴

◇参加者 沖崎吉信、濱野兼吉、梶野照雄、村吉光夫、鳥羽真司
5名

2月8日に浦向道の点検を行う予定だったが、国道の法面工事のため行仙宿まで行くことができず、浦向から四ノ川林道までを歩いただけに終わった。今回は残りの行仙宿から四ノ川林道までの点検を主目的に実施した。



登山口に着く



雪の笠捨山



行仙宿に到着

R425は冬季通行止めが6日間延長されゲートに鍵がかかった

ままだった。途中で沖崎車引き上げに使った板などを回収する。前回は四ノ川林道の積雪が多く、今日は行仙宿の登山口まで行くことができるか心配していたが、積雪は1〜4位に減っており難なく登山口に到着した。ガソリンやザックをモノレールに積み、梶野、沖崎が乗って終点に向かった。3名は歩いて登った。補給路の積雪は第2ベンチ付近で10cmほど、日の当たる所は土が見えていた。終点で荷物を降ろし、後続を迎えに第2ベンチの下まで降りた。沖崎さんはガソリン缶を持って小屋へ向かった。鳥羽さんを先頭に濱野、村吉さんが第2ベンチに着き、しばし休憩して小屋に向かった。



気温はマイナス3°C



雪を吹き飛ばす



本日の参加者

小屋玄関脇の温度計はマイナス3°Cを指していたが、風が殆どなく、極端な寒さではない。ブロワーを出して玄関やトイレの雪を掃除した。午前11時半から昼食を摂り、午後0時15分に小屋を出て浦向道に向かった。モノレールを降ろすため、沖崎さんに残って頂い

た。モノレール旧終点から浦向道に入る。立木があるため積雪は少なく、土が見えている所も多い。川島橋に着き両側を点検、特段の変化は無かった。橋の下の谷は積雪のため確認できない。



川島橋を点検



林道上のトラバース

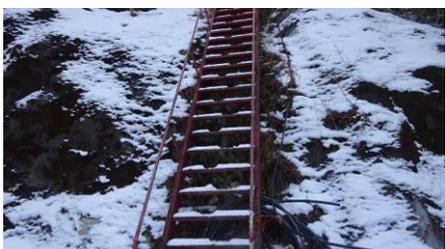


登山口へ向かう

植林帯に入り高度を下げていくが、落ちている杉の枝が雪と混じり、滑りやすい箇所が増えてきた。1時間強で林道に着いたが、濱野、村吉の2名がなかなか降りてこない。15分ほど待つてようやく2人が降りてきた。長靴の濱野さんが何度か滑り、村吉さんのチェーンスパイクを装着してゆっくり下ってきたそうだ。前回は林道の雪が深くて登山口まで40分かかったが、今回は深いところでも10cm程度で歩くのに苦労はせず30分で沖崎さんの待つ登山口に到着した。前回歩いた所も今日下った区間も登山道に異常は無く、浦向道の点検は終了した。



登山口に着く



階段の雪も無くなった



役場駐車場に帰着

行動タイム

09:00 下北山村役場駐車場↓09:42 補給路登山口↓10:10 コジマハウス↓10:51 行仙宿↓11:15↓12:53 川島橋↓13:33 四ノ川林道
13:56↓14:25 補給路登山口↓15:05 下北山村役場駐車場